

令和 7 年度
菊池市総合計画及び
菊池市まち・ひと・しごと創生
総合戦略評価審議会
答 申 書

令和 7 年 1 1 月

菊池市総合計画及び
菊池市まち・ひと・しごと創生総合戦略
評価審議会

1. 総評

第3次菊池市総合計画前期基本計画及び第2期菊池市まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和6年度の施策について、コロナ禍の状況が落ち着き、市民にも日常の暮らしが戻り、世界情勢の不安定化等による物価高騰の影響を受けながらも観光や交流活動、各種イベント等様々な施策を進め、全体として概ね順調に進捗している。

特に、人口減少対策（移住定住）の推進においては、各種施策の実施により、一定数の移住者を獲得することができており、「住みたい田舎ベストランキング」でも複数部門で上位入賞するなど、施策の効果が表れ始めている。

一方で、TSMCをはじめとする多くの半導体関連企業の進出により、宅地開発や企業進出の好機が到来しているものの、無秩序な開発等の問題も懸念されることから、令和5年度に発表したゾーニングに基づき、優良な農地を確保しつつ、中長期的に農・商・工のバランスの取れた発展が求められている。

引き続き、今回の評価を通して抽出された課題や意見をこれからの取組の改善や新たな施策の推進に繋げ、よりよい菊池市の発展に寄与されることを期待する。

- 観光の振興について、ファンクラブ会員登録制度の見直しや、時代の変化に応じた観光PR手法の工夫、魅力的な体験型プランや移動手段の充実等を通じて、より多くの来訪促進と、地域の魅力発信に取り組んでももらいたい。
- 人口減少対策（移住定住施策）について、より一層の市内外に向けた周知を進めるとともに、子育て世帯や移住者が安心して菊池市で生活できるよう制度を更に充実してもらいたい。
- 農業の振興について、既存地域営農法人をはじめ、市内の農家の皆さんに対し、安定した経営が継続できるような支援を行うとともに、地域農業が将来にわたって持続できるよう事業承継に係る施策等にも取り組んでももらいたい。
- 生活困窮者への対応や就労支援、子どもの貧困対策について、地域福祉の充実や自立支援の充実にも資する重要な取組であることから、引き続き継続的な支援を実施してもらいたい。
- まちなか整備について、花や緑を取り入れた緑地化の推進や、ベンチ等設置による快適な休憩空間の整備を進めることで、誰もが回遊したくなる魅力的なまちづくりを進めてもらいたい。

- 防災・消防体制の充実について、予期せぬ災害に備えた定期的な施設や設備の整備・点検に加え、地域単位での防災学習を推進し、非常時に地域で対応できる防災力の育成と、その継承に取り組んでもらいたい。また、防災士の知識を活かせる機会創出についても検討してもらいたい。
- 道路・交通体系の整備について、免許返納を考える方が安心して返納できるよう、べんりカーやあいのりタクシーの利用促進、新たなモビリティの導入や公共交通機関を利用しやすい仕組みづくり等の検討を進めてもらいたい。
- 都市開発について、近隣自治体において半導体関連産業の立地が進展する中、菊池市においても、無秩序な開発を防止しつつ、計画的な土地利用の誘導や地域特性を踏まえた開発の在り方について検討を進め、持続可能な発展を促す仕組みの構築を実施してもらいたい。
- 学校教育について、「菊池っ子 60 運動」は小中学生の基礎学力や生活習慣の改善に効果的な取組だと思われるため、多くの家庭で取り組んでいただけるよう、更なる周知啓発に努めてもらいたい。
- 財政運営について、必要なときに必要な予算が執行できるよう、引き続き健全で持続可能な財政運営を実施してもらいたい。

2. 菊池市総合計画等評価審議会名簿

※当審議会は、下記の10名（学識経験者1名、各種団体等9名）で構成

役職	氏名	備考
会長	上野 眞也	熊本大学
委員	泉 大助	菊池市商工会
委員	佐藤 由紀	菊池観光協会
委員	堤 幸子	菊池地域農業協同組合女性部
委員	錦戸 亨	熊本県県北広域本部
委員	谷 和彦	肥後銀行菊池支店
委員	田中 仁史	連合熊本菊池阿蘇地域協議会
委員	三上 かおり	菊池市教育委員
委員	上田 敏雄	菊池市社会福祉協議会
委員	古津 理恵	菊池市子ども会育成協議会